

大変参考になった。やはりドンという感じ勉強できました。ありがとうございました。

(ケアマネ)

とてもいいお話を聞くことができ参考になりました。今後の包括に期待します。(PT)

包括支援センターの職員です。廣江さんのお話で包括の役割が大きいことを痛感させられました。現状も頑張っって地域に向かっていますが、新予防給付のプラン追われ時間が足りません。新予防プランを包括の仕事から分けていただけるといいのですが。(社会福祉士)

とても貴重なお話が聞けました。出来ないのではなく、みんなが力を合わせれば地域包括ケアシステムは可能と思います。(保健師)

食事、嚥下 ST、姿勢 PT、環境 OT と考えます。ST だけでは無理です。医師のレベル UP を望みます。介護保険制度を理解して下さい。

(ケアマネ)

地域包括支援センターの役割について、改めて考えようと思います。(社会福祉士)

貴重なお話有難うございました。今後地域密着が更に重要になるのは確かだと思います。まずは医師とその他の職種の連携も大事なると思います。(医師)

経営の話はよく分からないけどまっとうに前向きに過ごしていきたいと思いました。

(社会福祉士)

大変興味深い話だった。(社会福祉士)

大所高所のおはなしが聞いて大変ためになりました。ありがとうございました。(ケアマネ)

大変勉強になりました。(OT)

地域包括ケアシステムの中で、リハビリが担う役割が今後、大切となってくることを感じました。在宅療養支援診療所がどのようなものとなるのかあまりイメージできず、よく分かりませんでした。講演おもしろかったです。(OT)

「できる限り住み慣れた地域で暮らし続ける」そのためには、生活機能をいつまでも維持することが出来れば良いが現実には厳しい。リハビリ専門職として、機能低下した高齢者の人たちの生活リハビリを行っているが、予防的な視点が、十分に介護保険サービス現場に浸透していないように感じる。というのも、かなり重度化した状態での訪問リハビリ (ST) の依頼が多いためだ。廃用性に口腔機能が低下していく高齢者の状態を把握できていないため、かなり重度な状態になってから、はじめて機能低下に気付

くというパターンと考える。少しずつ口腔機能に注目して下さる医師やケアマネも増えてきたが、まだ十分とは言えない。PT,OT のリハビリを行っていてもなかなか成果が出ず、実は口腔機能が低下していて食事を摂っていなかったためだったという話も聞いた事がある。まずは何をやるにしても、口から食べることは生活の基本だと思うので、介護保険サービスのリーダー的存在である医師、ケアマネにもっと口腔嚥下に注目して頂ければ幸いである。その点が健康的に、在宅で生活し続ける第一歩にもなるのではないかと考える。(ST)

特養などの施設型から新たな住まい (在宅、地域密着) への方向転換をとというお話を伺い、自己の業務においても今後の方向性を見直ししなければならぬと感じました。どのように在宅を支援すればよいのかを視点において、サービス (リハビリ) 提供をしていければと思います。(ST)

広い視野のお話がおもしろかった。身近な話もあり、研修してよかった。(ケアマネ)

介護についての先生の考え方、説明とてもわかりやすく今までで、来てよかったと思います。地域包括支援センター、介護支援専門員、医師、介護職がもっと連携をとり、利用者のことを考えて、より良い在宅生活ができるようにしていけたらいいなと思います。介護保険がもっと利用者のことを考えて出来ていけばいつも思います。(介護福祉士)

現在の福祉の状況そしてこれからどうしていかなくてはならないかを考えさせられました。ありがとうございました。(訪問介護員)

良かった。(ケアマネ)

地域包括ケアのイメージがより良い形で私達の住む地域でも浸透すればいいかなと思いました。(看護師)

今後の介護がどういう方向に進んでいくかを勉強する良い機会となりました。経営という視点はいつもあまり考えない視点を得ることができたことが一番の収穫でした。(医師)

経営者の視点からみた介護保険の話はおもしろかったです。やはり居住の問題ですね。地域包括ケアシステムを米子につくらねばなりません。死に方についてはまったく同感でした。(PT)

地域包括ケアとは？行政、事業者、医師会、住民など膝を混えた論議を、現場の声を大切にしながら丁寧にやることですかね。そういう意味で一つの問題提議を聞かせていただいたと思

います。(医師)

幅広い話を聞けてただただ考えて(これからの時代を)おられると感じました。地域包括ケアを町作りの拠点とするお話、まさにこれからの時代の予防介護の重要性を考えさせられました。(介護福祉士)

力強い御講演で非常によかった。(医師)

地域包括ケアシステムの構想がよく分かった。基本は一定の範囲の地域で支え合いながら生活することが理想だと理解できた。(PT)

良かった。(医師)

今後の展望について得た点、地域密着型施設の活用方法を検討することが、新たな展開へつながると考えた。職員の教育方法、3年あずかりシステム方法、廣江先生の考え方に共感する部分がたくさんもてた。幸朋苑では、大きな事ができる、仕事、事業をするよろこび、夢があると感じた。展開は今迄なんらかの形で検討された内容で、新しい内容が欲しかったという点も残りました。私は先生にお会いしたのが初めてでした。(看護師)

このような会へ参加したことが無かったので、大変勉強になりました。自分自身まだまだ分からない事が多くあるので、学ぶ事への啓発となりました。(社会福祉士)

介護に携わってまだ時間が少ししかたっていませんが、おおくの課題があることを感じます。医療の後を送っているような感じも受けましたが、全く異なる問題ととらえ、新しい方向性を見出せたらと思います。廣江先生の幅広い展望をお聞きし、先見の目を持ち対応しているのを感じました。介護福祉のレベルをもっと up し質の高いサービスを提供できればと思います。今日はありがとうございました。(看護師)

私も住み慣れた地域で、在宅で暮らし続けたい。多くの方はそう思っているだろうと思います。地域包括ケア体制に向けて期待したい。(介護福祉)

自分の法人の自慢が多いのでは？介護福祉士の話は良かった。(ケアマネ)

今後の方向性、行方がイメージ出来ました。介保施行後10年経過し、日本としての介護施策を見直し、地域の特性にあわせた柔軟な制度であれば思った。

よく分からなかった。これから勉強していこうと思いました。(看護師)

自宅に代わって安心して最期までまっとうできる所があるかということがケアマネとして家

族や本人様と関わってきて正直、受け皿がないということを感じています。いかに在宅での生活を継続する上で人材の不足、サービス事業所、医療の不足を感じています。地域の住民を巻き込んだ動きが必要だと思います。包括支援センターの今後の活動が重要に思えました。(ケアマネ)

現在は、看護職として働いていますが、介護支援専門員として、もう一度働きたいと日頃より考えていたので今回の定例会に参加しました。いつか自分の家の畑に地域密着型の住宅を作りたいという夢も持っています。自分の地域にも高齢者世帯が多くあり、小規模多機能居宅介護があったら良いと思います。(看護師)

具体的な話も交えての話だったので、楽しく聞けた。財源が少ない中での介護保険について今後の事が心配。地域密着型の大切さを感じた。(看護師)

小規模多機能がもっと充実すれば私も思います。都会の方と田舎の方との家に対する執着が異なると感じています。なかなか自分の意思で住み替えを前向きに感じて実行できる方は少ないと思います。

次回希望テーマ

- ・南部箕蚊屋広域連合は、今、何を考え何をしているのか
- ・障がい児童などの福祉分野(社協や民生委員など地域住民の代表からの意見を聞く機会があると良い)
- ・訪問介護について
- ・死について(スピリチュアルケアなど)
- ・在宅医療の現状について(ターミナル対応、緊急時の対応等)
- ・どうやったら在宅や住み慣れた地域に帰れるのか?
- ・看取りについて
- ・地域医療

その他

- ・いつもこの会に来ています。訪問介護員の参加がだんだん少なくなってきてさびしく思います。
- ・核家族化した若い方々が親の病気に直面したとき、「介護」ということに触れ、大きく動揺するケースがよくみられます。一般の20代から30代の方々に向けた勉強会があればと思います。